

令和7年度 品川区 当初予算案 プレス発表



令和6年度 ウェルビーイング予算

「幸福（しあわせ）」を予算に

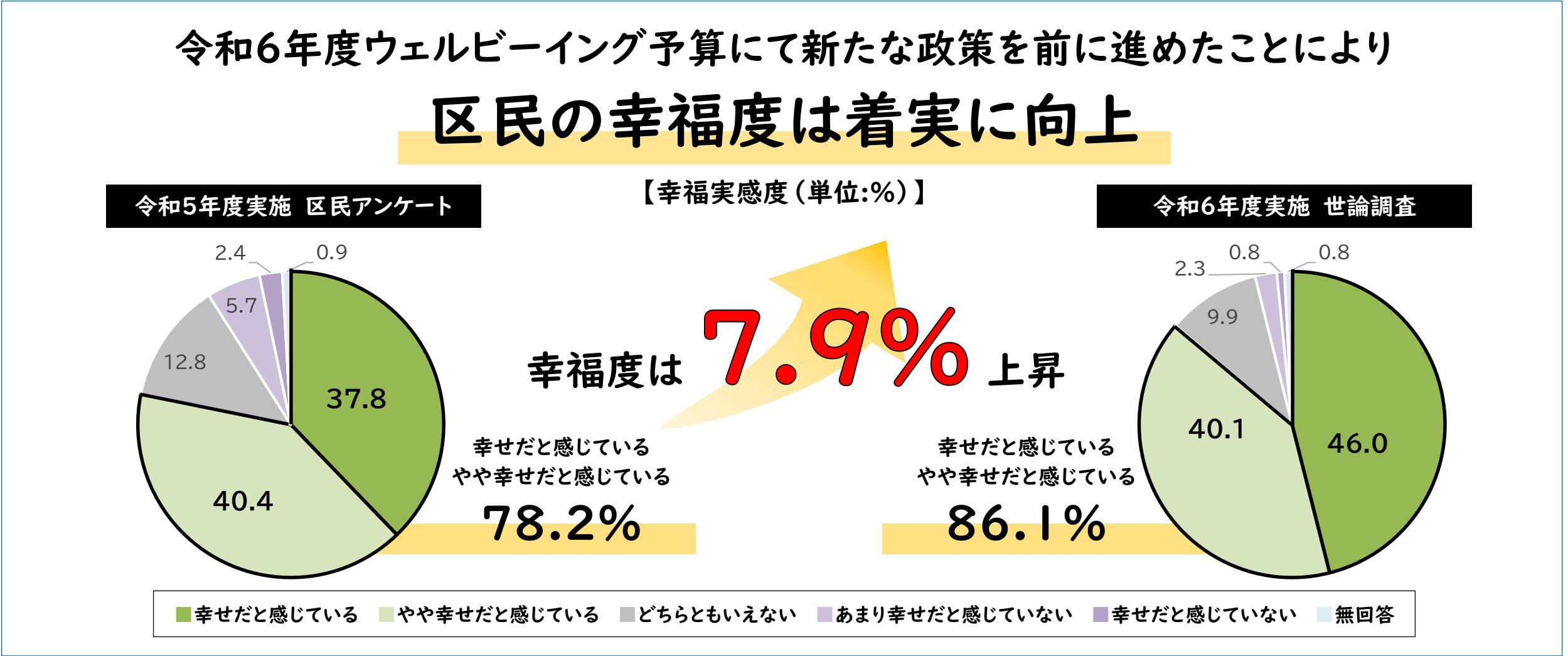
- ・ 区民の抱える不安や不満などの「不」を少しでも取り除く
- ・ 未来に希望が持てる社会をつくるための予算を編成

全665事業の事務事業評価を実施し、約**20億円**の財源を捻出

【令和6年度 ウェルビーイング予算に基づき実施した施策（例）】

- 義務教育の**学用品**を所得制限なく完全無償化
- **携帯トイレ**を全区民に無償配布 等

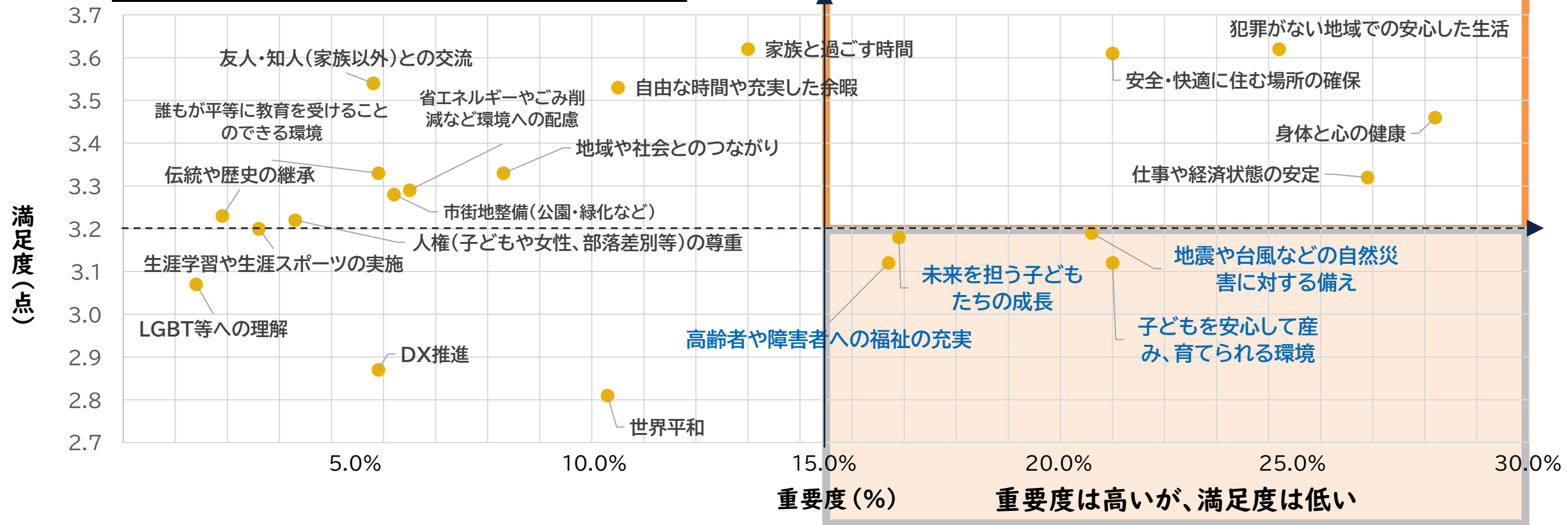
区民の幸福実感度



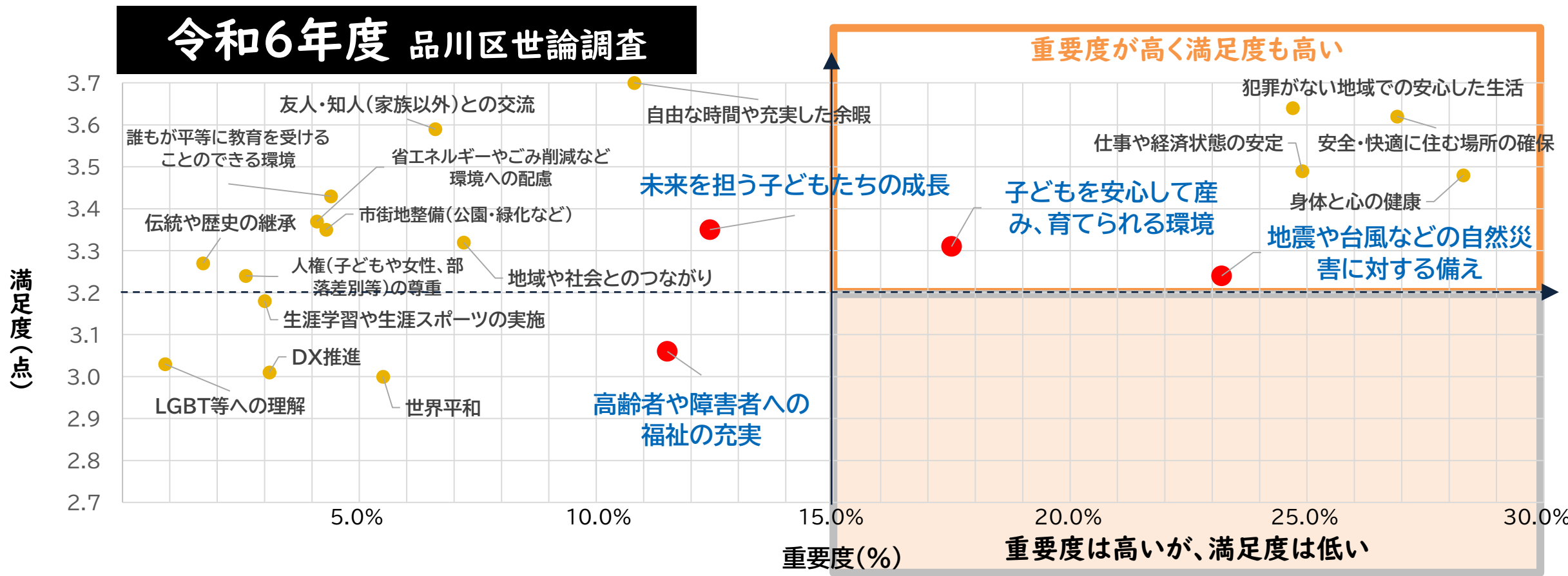
区民の幸福実感度

自分らしく暮らしていくために「特に重要」だと考えること
⇒「重要度」と「満足度」を軸としたマトリクスでクロス分析

令和5年度 品川区民アンケート



区民の幸福実感度



令和7年度予算編成の考え方

幸福度を向上させる最も重要な要素
「人生の選択の自由度」「最低生活費の確保」

※ウェルビーイング学会による調査

人間が自分らしく暮らしていくうえで
不可欠な生活の基礎となる行政サービス

所得制限なく全世代の人に提供する

過去最大 総額2,347億円の予算（前年比+15.3%）

予算編成の考え方(事務事業評価)

事務事業評価

区政の全669事業における施策の検証・見直し・アップデートを図る



事業のスクラップ・削減により約**20億円**を捻出



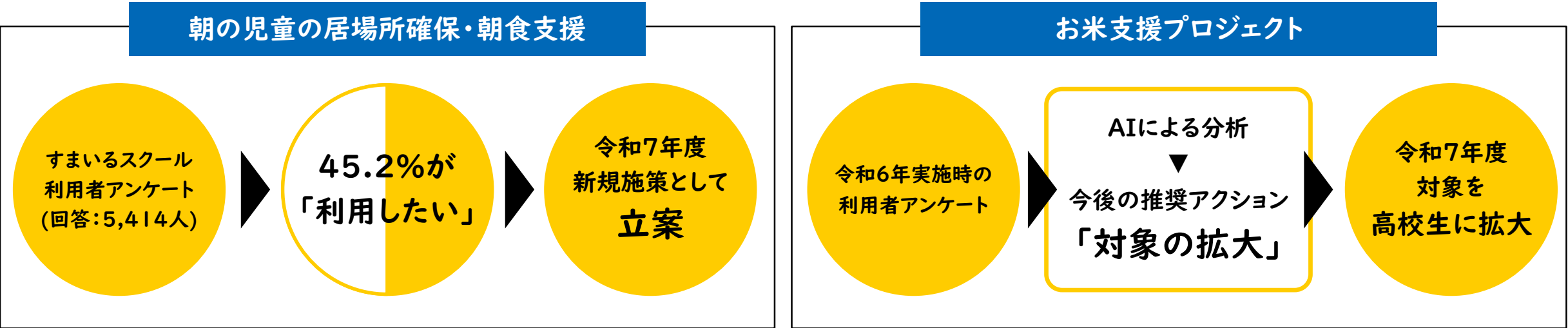
区民の幸福(しあわせ)につながる新たな施策に大胆かつ重点的に振り向ける

「ウェルビーイング予算2.0」を編成

予算編成の考え方(EBPMの推進)

EBPM (エビデンスに基づく政策立案) の推進

【令和7年度EBPMに基づき実施する施策(例)】



令和7年度は区職員がデータ分析等の研修に参加 根拠に基づく政策立案につなげることでEBPM推進の底上げを図る

※EBPM:エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキングの略で、行政の持つデータや事業の効果を表すエビデンスにもとづく政策立案

予算編成の考え方(ウェルビーイング予算2.0 内訳)

ウェルビーイング予算2.0 4つの柱

安全安心を守る

社会全体で子どもと
子育てを支える

生きづらさをなくし
住み続けられる
やさしい社会を作る

未来に希望の持てる
サステナブルな
社会をつくる

主要施策（安全安心を守る）

1. スフィア基準に対応 水循環型シャワーを導入

23区初・新規

- ・スフィア基準等を踏まえ、避難者の生活衛生環境を改善
- ・水循環型シャワーを導入する自治体間で相互支援体制を構築
- ・あわせて間仕切り付き段ボールベッドを各避難所に配備



水循環型シャワー

5,565万円

2. 高齢者・障害者世帯 家具転倒防止器具を所得制限なく無償化

新規

- ・区が指定した対象器具（13種類）の購入・設置費用の助成について所得制限を撤廃
- ・2万円を上限に無償化

67万円

主要施策（安全安心を守る）

3. 女性や若者など地域防災の新たな担い手を育成

新規

- ・若い世代を対象に防災士資格取得費用を助成
 - ・女性を対象とした「しながわ防災学校」のコースを新設
 - ・中学生向けに防災教育を行うための教材を提供

1,421万円

4. 防災活動をきっかけとした助け合い（共助）の強化

新規

- ・区がハブとなり、商店街、マンション、学校等の区内団体のつながりを構築
 - ・防災協議会の自主的活動への支援

2,860万円

5. 区内8割を占める共同住宅のためのマンション防災推進

新規

- ・マンション防災について「きっかけづくり」「知識・技能の習得」「専門的な支援」の3段階の支援事業
 - ・区内マンション全体の防災力強化を図ることで、災害時の在宅避難を推進

419万円

11

令和7年2月5日

主要施策（社会全体で子どもと子育てを支える）

1. 中学校標準服(制服)を所得制限なく無償化

令和7年度小学校卒業者から **23区初・新規**

- ・区立中学校の入学時における標準服(制服)の上衣(ブレザー、ジャケット)と下衣(スラックス、スカート)の夏服・冬服の購入費用を所得制限によることなく完全無償化
- ・特別支援学校も対象
- ・民間調査でも、教育にかかる費用の中で学校制服は特に負担感が大きいとされる

1億143万円

2. 修学旅行費を所得制限なく無償化 **都内初・新規**

- ・区立中学校、特別支援学校中学部の修学旅行費を所得制限によることなく完全無償化
- ・交通費、宿泊費等を対象に完全無償化

1億3,559万円

主要施策（社会全体で子どもと子育てを支える）

3. オール有機野菜による学校給食の提供 **都内初・新規**

- ・区立学校給食すべての野菜に有機・特別栽培農産物を活用

※有機農産物：化学肥料・農薬を原則使用せず、環境に配慮し作られた農産物

※特別栽培農産物：農薬の使用回数や化学肥料の窒素成分量が50%以下で栽培された農産物

2,827万円

※有機農産物等活用による増額分

4. 所得制限のない給付型大学奨学金を創設 **都内初・新規**

- ・所得制限によらない給付型大学奨学金を実施
- ・区内在住の医療系、理工農系の大学進学予定者1学年あたり100人、計400人程度を対象
- ・面接による将来への意欲の確認のほか、ボランティア、地域貢献等を考慮

5,677万円

主要施策（社会全体で子どもと子育てを支える）

5. 朝の児童の居場所確保・朝食支援 **都内初・新規**

- ・子どもの小学校進学時に課題となる「朝の小1の壁」への対応
- ・朝の時間帯に児童が安全に過ごせる居場所を体育館や図書室等に設置
- ・欠食している児童へ無償でパン・おにぎり等の朝食を提供

5,746万円

6. オンラインMy助産師による伴走サポートで産前産後の不安解消 **都内初・新規**

- ・妊娠中から産後3ヵ月まで、ウェアラブル端末を活用して心身の健康管理を実施
- ・そのデータを基に専属助産師といつでもどこでもオンライン面談
- ・「ウーマンズビジネスグランプリ2024」のグランプリ受賞提案に基づき事業化

2,302万円

主要施策（社会全体で子どもと子育てを支える）

7. 妊婦・産婦歯科健康診査で歯のクリーニング **新規**

- ・妊婦・産婦歯科健診と同時にクリーニング(歯の表面の簡易清掃)を実施
- ・早産や低体重出生児の要因となる可能性がある歯周病を予防し、口腔内の健康状態を改善

408万円

8. 産後ケアサービスを都内トップレベルに引き上げ

- ・宿泊型の利用日数を最大6泊7日に拡大、利用者負担額を1割まで減額
- ・訪問型の乳房ケアに特化した訪問型事業を開始
- ・職場復帰後やパートナーの育児参加の場として利用できるよう日曜日も訪問

1億5,777万円

主要施策（社会全体で子どもと子育てを支える）

9. 放課後の居場所「すまいるスクール」利用料を所得制限なく無償化

- ・特に利用者の多い午後5時までの時間帯について所得制限によることなく無償化 1,500万円

10. 夏休み中の食を支援する「お米支援プロジェクト」高校生まで対象拡大

- ・学校給食がない夏休み期間の食支援のため所得制限なく米2kgを提供
- ・児童センター職員が手渡しの際に子どもの様子を見ることで適切なアウトリーチ支援につなげる
→実際に不登校児童の親の相談につながった事例や、子ども家庭支援センターで気になっていた家庭と接触できた事例もあった
- ・利用者アンケートを分析アプリで解析、「対象を拡大」という推奨アクションから高校生まで拡大

2,574万円

主要施策（社会全体で子どもと子育てを支える）

11. フィンランドへ中高生を派遣 **新規**

- ・アントレプレナーシップ教育が盛んなフィンランドへ夏休み期間中に5泊8日で派遣
- ・区内中高生10人が対象、品川区の国際交流事業への活用意向を受けた寄附金を活用
- ・自己探求型プログラムを通し、失敗を恐れずにチャレンジするマインドを醸成

1,120万円

12. 区内中高生が区長のリバースマンター **都内初・新規**

- ・子ども・若者のアイデアを政策に反映させる制度を創設
- ・区長にプレゼンし、子ども・若者ならではの自由な発想を区政に活かす

460万円

主要施策（生きづらさをなくし住み続けられるやさしい社会を作る）

1. 終活支援サービスを所得制限なく無償化 **新規**

- ・見守りや日常生活支援などのサービスを所得制限によることなく無償化
- ・定期的に訪問し、お元気確認等を行う「あんしんサービス契約」の初回手続支援料や基本料金が対象
- ・高齢者の将来や死後に対する不安を解消

838万円

2. 住宅確保要配慮者の居住支援を拡大 **新規**

- ・高齢者、障害者、生活困窮者等、すべての住宅確保要配慮者に対応する総合相談窓口を開設
- ・「家主あんしん保険」の損害保険費用を区が負担することで家主の負担を軽減
- ・要配慮者が入居可能な住宅を確保

4,273万円

主要施策（生きづらさをなくし住み続けられるやさしい社会を作る）

3. 高齢者の引越し費・残置物処分費の負担軽減

- ・65歳以上の世帯に民間賃貸住宅をあっ旋
- ・敷金等の初期手数料に加え、引越し費用を新たに助成
- ・引越後の、残置物処分費について本人負担額を1/4に軽減

2,977万円

4. 認知症検診の対象を70歳以上に拡大

- ・「もの忘れ検診」として認知機能検査等を実施
- ・無料の受診機会を70歳以上に拡大することで、早期発見から適切な治療・支援につなげる

3,276万円

5. 認知症高齢者のGPS端末機利用を所得制限なく無償化

- ・初期登録料に加え、月額基本料金を新たに助成
- ・高齢者の安全安心を確保すべく希望するすべての人に配布

730万円

主要施策（生きづらさをなくし住み続けられるやさしい社会を作る）

6. 高齢者補聴器購入費助成額の拡大

- ・区内在住で65歳以上の中等度難聴程度の方を対象に所得制限なく購入助成を実施
- ・現在3万5,000円の助成上限を7万2,450円に大幅増額

3,023万円

7. 18歳以上65歳未満の中等度難聴者の補聴器購入費を助成

新規

- ・これまでは助成対象でなかった年代に、5万円を上限に助成
- ・18歳未満の「中等度難聴児発達支援事業」、65歳以上の「高齢者補聴器購入費助成」とあわせすべての年代の聞こえを支援

250万円

主要施策（生きづらさをなくし住み続けられるやさしい社会を作る）

8. 紙おむつ利用高齢者支援 所得制限撤廃&助成額UP

- ・30日以上の上院中に要した紙おむつ代助成
→所得制限撤廃、助成限度額を5,000円から6,000円に

1億2,161万円

9. 73（ナナサン）歯科健診でフレイル予防 **23区初・新規**

- ・73歳の国民健康保険加入者を対象に無料で実施
- ・口腔内診査と同時にフレイル評価も実施

352万円

主要施策（生きづらさをなくし住み続けられるやさしい社会を作る）

10. 「18歳の壁」対策 生活介護延長受入れ運営費助成 **新規**

- ・障害のある人が18歳となり生活介護サービス等に移行すると受け入れる時間が短くなり家族が就労を継続できなくなる、いわゆる「18歳の壁」
- ・障害者へのサービス提供時間を延長する生活介護事業者へ運営費助成
- ・障害者の夕方時間帯の居場所を確保することで家族等の介護離職を回避

1,656万円

11. 障害児通所支援等利用料を所得制限なく無償化 **新規**

- ・現在、就学後～18歳未満の障害児は、所得に応じて利用者負担が発生
- ・放課後等デイサービスや児童発達支援等の対象サービス利用料を所得制限によることなく完全無償化

7,453万円

主要施策（生きづらさをなくし住み続けられるやさしい社会を作る）

12. 障害児者の外出にかかる負担を軽減 **新規**

- ・介護タクシー利用者の予約料・迎車料・基本介助料について無償化
- ・障害児者の医療ショートステイにかかる交通費を月額2万円補助

3,917万円

13. 区外特別支援学校への通学を支援 **新規**

- ・通学する本人および介助者を対象
- ・自宅～バススポット間の交通費を助成

864万円

主要施策（生きづらさをなくし住み続けられるやさしい社会を作る）

14. 障害者就労支援施設の新規開設 **新規**

- ・接客や商品陳列などの店舗業務を体験を通して、障害者の就労につなげる拠点の整備

5,000万円

15. 品川からデフリンピックを盛り上げる

- ・東京2025デフリンピック(令和7年11月15日から12日間)を前に区独自の啓発事業を実施
- ・デフサッカー日本代表強化合宿交流(6月予定)
- ・デフリンピック海外出場チームとの交流(11月予定)

2,388万円

主要施策（生きづらさをなくし住み続けられるやさしい社会を作る）

16. 区独自給付金による実質ひとり親家庭支援 **新規**

- ・離婚調停中の実質ひとり親家庭は児童扶養手当の申請ができない
- ・条件を満たす申請者に児童1人につき10万円を支給

300万円

17. ひとり親家庭の子ども及びヤングケアラーの体験格差改善

- ・ひとり親家庭の子ども向け体験型プログラム(自然、文化、社会的体験)を充実
- ・ヤングケアラーの体験学習機会創出として、科学実験教室、プログラミング講座等を実施

1,094万円

18. フリースクール等利用料の助成 **新規**

- ・区立学校に在籍する不登校の児童・生徒が対象
- ・月額2万円を上限として都のフリースクール助成金に上乗せ助成

1,203万円

主要施策（生きづらさをなくし住み続けられるやさしい社会を作る）

19. いじめに関する正しい知識を持つ地域の大人を養成

新規

- ・区長部局の相談員が、いじめ対応に係る講義を実施
- ・対象：18歳以上(いじめ予防出前講座)

保護者、スポーツクラブの指導者等(地域いじめ防止リーダー養成講座)

42万円

20. スクールロイヤールの設置体制を強化

- ・いじめの未然抑止や再発防止策などを弁護士がバックアップ
- ・いじめ対応に特化した弁護士による法的支援体制の整備

373万円

主要施策（未来に希望の持てるサステイナブルな社会をつくる）

1. 区民の声を区政に反映するデジタルプラットフォームを導入 **新規**

- ・時間、場所を選ばず、区民が気軽に区政に対して意見を提案
- ・多様な声を政策立案につなげることでデジタル民主主義を推進

396万円

2. 女性IT・デジタル人材を支援 **新規**

- ・キャリアセミナーやプログラミング体験レッスンを開催
- ・子育て中や非正規雇用の女性求職者と区内企業のマッチング支援

220万円

主要施策（未来に希望の持てるサステナブルな社会をつくる）

3. プレミアム率10% 区内デジタル商品券を発行 **新規**

- ・新たにデジタル商品券4.4億円分を発行
- ・スマホアプリを利用したキャッシュレス決済により、商店街のデジタル化を促進

8,288万円

4. AIオンデマンド交通の実証運行 **新規**

- ・時刻表や決まった運行経路がない予約型の乗合タクシーを運行
- ・利用者の予約に応じてAIを活用し効率的な配車を行う
- ・高齢者や障害者、子育て世帯など、移動に負担がある区民の支援

2,000万円

主要施策（未来に希望の持てるサステナブルな社会をつくる）

5. 戦後80年「被爆ピアノ」が奏でる平和な未来への願い **新規**

- ・被爆ピアノの演奏とあわせピアノにまつわる物語を披露
- ・子どもたちが戦争や原爆を主体的に考える機会を創出

198万円

6. 省エネルギー対策助成の新設・拡大

- ・ZEH、ZEBにかかる新規助成により、家庭部門、業務部門における省エネ・脱炭素化を推進
- ・太陽光発電・蓄電池システム設置助成、事務所用LED照明設置助成の拡大

9,403万円

7. 「水辺の品川」を楽しむ

- ・東京湾や京浜運河、目黒川でしながわクルーズを運航
- ・東品川海上公園で水上自転車、ウォーターバルーン等の試行イベント実施
- ・しながわ水辺の観光フェスタにおいて、打ち上げ花火、クルーズ、マルシェを開催

6,942万円

